
平成27年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成27年2月26日

質問者（質問順）

- 1 草間 剛 委員（自民党）
- 2 藤代 哲夫 委員（自民党）
- 3 中島 光徳 委員（公明党）
- 4 今野 典人 委員（民主党）
- 5 串田 久子 委員（結ぶ会）
- 6 荒木 由美子 委員（共産党）
- 7 平野 和之 委員（みんな）

水道局

局 別 審 査

1 草 間 剛 委員（自民党）

1 平成27年度水道事業会計予算について

- (1) 予算編成にあたっての基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 予算における経営努力の取組と効果について伺いたい。
- (3) 82億円の純利益についての評価を伺いたい。

2 新たなビジョンの策定について

- (1) 新たなビジョンを策定する背景について伺いたい。
- (2) 20～30年後の水道事業の置かれる事業環境について伺いたい。
- (3) 今回のビジョンで力を入れていこうと考えている点について伺いたい。

3 水道局の資金調達について

- (1) 資金調達手法の検討状況について伺いたい。
- (2) 飯能市の政策を研究すべきと考えるがどうか。

4 メーター検針業務等の委託における中小企業振興基本条例の活用について

- (1) メーター検針業務等の委託における市内中小企業の受注状況について伺いたい。
- (2) 市内中小企業育成や受注機会の増大という観点での工夫内容について伺いたい。
- (3) 総合評価一般競争入札を港南区・栄区で導入したことによって変わった点について伺いたい。
- (4) 条例の趣旨を踏まえ、市内中小企業の育成や地域に密着したお客さまサービスの向上を目指し、総合評価の配点などを改善すべきと考えるがどうか。

(要望) 今後、総合評価の内容を総合的に検証し、質の高いお客さまサービスを提供できる市内中小企業の育成を目指して、さらなる改善に取り組まれることを要望します。

5 資産の適正な管理について

(1) 市内にある水道局所有の使用予定のない老朽化したポンプ場の状況について伺いたい。

(2) 老朽化した大柵ポンプ場の今後の対策について伺いたい。

(3) 使用予定のない老朽化した建物の管理の考え方について伺いたい。

(要望) 今後、施設のストックマネジメントを施設・管路ともに進めることを要望します。

6 横浜ウォーター株式会社の国内事業について

(1) 横浜ウォーター株式会社の国内事業の26年度の取組状況について伺いたい。

(2) 宮城県山元町におけるアドバイザー業務の内容について伺いたい。

(3) 座間市の案件について受託に至った経緯と内容について伺いたい。

(4) 山元町と座間市における横浜ウォーター株式会社への評価について伺いたい。

(5) 国内水道事業体の課題や支援のニーズについての認識を伺いたい。

(6) 水道局と横浜ウォーター株式会社が連携して国内水道事業体支援に取り組む意義について伺いたい。

7 横浜ウォーター株式会社の営業力の強化について

(1) 26年度の体制強化の状況について伺いたい。

(2) 優れた営業の経験とノウハウを有する人材をさらに民間から登用し営業力を強化すべきと考えるがどうか。

(3) 環境創造局との関係をさらに強め、下水道分野の案件にも積極的に取り組むべきと考えるがどうか。

(要望) 横浜市としても一体でしっかりと事業を推進していただきたいと要望します。

2 藤代哲夫委員（自民党）

1 西谷浄水場の再整備について

- (1) 本市の浄水場再整備の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 西谷浄水場を再整備する必要性について伺いたい。
- (3) 粒状活性炭とは何か。また粒状活性炭を導入する理由について伺いたい。
- (4) 西谷浄水場再整備における省エネルギーの考え方について伺いたい。
- (5) 西谷浄水場再整備における再生可能エネルギー導入の可能性について伺いたい。
- (6) 横浜水道記念館の概要について伺いたい。
- (7) 横浜水道記念館の来館者数の推移について伺いたい。
- (8) 施設利用を促進するための、これまでの取組について伺いたい。
- (9) 利用促進やより親しまれる施設とするための考え方について伺いたい。

2 事務所の統合について

- (1) 事務所の統合の概要について伺いたい。
 - (2) 事務所の統合の進捗状況について伺いたい。
 - (3) 市民にとって分かりやすい事務所の名称にすべきと考えるがどうか。
 - (4) 事務所の統合により災害対応力がどのように強化されるのか伺いたい。
 - (5) 中村ウォータープラザの西側部分の活用策について伺いたい。
 - (6) 事務所の統合を進める上での今後の課題について伺いたい。
- (要望) 分かりやすい事務所の名称も含め、市民サービスを十分検討し、市民の皆様に混乱が生じないよう広報を徹底して進めていただくことを要望します。

3 管路の耐震化について

- (1) 老朽管更新の考え方について伺いたい。
- (2) 27年度の予算と中期経営計画に対する老朽管更新事業の達成状況について伺いたい。

- (3) 27年度末の送・配水管の耐震化率と基幹管路の耐震適合率について伺いたい。
- (4) 震災時の重要拠点施設への管路の耐震化の取組について伺いたい。
- (5) 重要拠点として整備している具体的な施設について伺いたい。
- (6) これまでの進捗状況と27年度の事業計画について伺いたい。
- (7) 震災時における本市の上下水道の復旧の考え方について伺いたい。
- (要望) 大規模地震発生時、迅速に被害を把握すること、災害対策本部の機能を十分に発揮すること、上下水道の一体的な復旧を実現できることを要望します。

4 水管橋長寿命化促進事業について

- (1) 従来の点検及びメンテナンス方法について伺いたい。
- (2) この事業におけるメンテナンスの優先順位及び実施計画について伺いたい。
- (3) これ以外の水管橋メンテナンスの考え方について伺いたい。
- (要望) 今後も積極的に事業を推進することを要望します。

5 JICA草の根技術協力事業について

- (1) これまでの活動状況について伺いたい。
- (2) 27年度の取組内容について伺いたい。
- (3) 今後の展開に向けた局長の意気込みについて伺いたい。

6 横浜ウォーター株式会社の国際事業について

- (1) 26年度の取組状況について伺いたい。
- (2) 最近の主な海外案件について伺いたい。
- (3) 今後の海外展開について伺いたい。
- (4) 国際局と連携した水道局の今後の事業展開について伺いたい。

3 中 島 光 徳 委員（公明党）

1 道志水源林の保全について

- (1) 本市が発表の機会を得た背景となる熱帯森林の国際的な課題について伺いたい。
- (2) 本市の取組で評価された点について伺いたい。
- (3) 市民の支持を得るための啓発活動の実施状況について伺いたい。
- (4) 水源林保全の取組を発信していくことの意義について伺いたい。

2 西谷100年・小雀50年浄水場創設記念事業について

- (1) 既に取り組んでいる事業について伺いたい。
- (2) 今後の創設記念事業の内容について伺いたい。
- (3) 記念事業を行うことによる効果について伺いたい。

3 アフリカへの国際貢献の取組について

- (1) アフリカ諸国を対象とした研修の実施状況について伺いたい。
- (2) JICAや参加者からの評価について伺いたい。
- (3) 職員派遣の取組内容と今後期待する効果について伺いたい。
- (4) 今後のアフリカ支援に向けた意気込みについて伺いたい。

4 老朽管更新・管網整備による配水管の耐震化について

- (1) 老朽管更新・耐震化のペースアップに対する考え方について伺いたい。
- (2) 重要拠点施設への管路の耐震化の今後の方向性について伺いたい。

5 道路内老朽給水管改良促進事業について

- (1) 道路内の老朽化した給水管の現状について伺いたい。
- (2) 事業の概要及び受付状況について伺いたい。
- (3) 事業導入による効果について伺いたい。

6 横浜水道安全・安心パートナーについて

- (1) 「横浜水道安全・安心パートナー（燃料供給）」事業者の登録状況について伺いたい。
- (2) 「横浜水道安全・安心パートナー（材料供給）」の導入経緯及び登録状況について伺いたい。
- (3) 登録事業者に対する対応について伺いたい。
- (4) 登録事業者の意欲を高める工夫を行ってもらいたいと考えるがどうか。

7 応急給水拠点の認知度アップについて

- (1) 水道局が整備している応急給水拠点とは何か。
- (2) 応急給水拠点の認知度について伺いたい。
- (3) 認知度をあげていくための今後の取組について伺いたい。

8 消火栓を活用した応急給水について

- (1) 消火栓を活用した応急給水の技術的な課題と対応について伺いたい。
- (要望) 今後も、引き続き積極的に課題解決に向けて取り組むことを要望します。

9 国際会議での水道局の取組の発信について

- (1) LESAMの概要及び横浜で開催する意義について伺いたい。
- (2) 今後も国際会議を通じて水道局の取組を積極的に世界にアピールすべきと考えるがどうか。

4 今野典人委員（民主党）

1 新たなビジョンの策定について

- (1) 新たなビジョンの位置づけについて伺いたい。
- (2) 市民など外部の意見の取り入れ方について伺いたい。
- (3) 新たなビジョンの「目指す将来像」を市民と共有するための、策定に当たっての工夫について伺いたい。

2 横浜ウォーター株式会社による国内水道事業体等の技術継承への貢献について

- (1) 横浜ウォーター株式会社の研修事業の概要について伺いたい。
- (2) 横浜ウォーター株式会社が実施する研修の受講者の人数、傾向及び評価について伺いたい。
- (3) 国内水道事業体がアドバイザーを横浜ウォーター株式会社に委託する、技術継承の観点でのメリットについて伺いたい。
- (4) 民間企業へのアドバイザーの事例と横浜ウォーター株式会社が行う意義について伺いたい。
- (5) 国内水道事業体への技術支援を行う上での課題について伺いたい。
- (6) 国内水道事業体への技術継承の支援における横浜ウォーター株式会社の強みについて伺いたい。

3 水道基幹施設の耐震化と停電対策について

- (1) 水道基幹施設の耐震化の優先順位の考え方について伺いたい。
- (2) 27年度末の基幹施設の耐震化率の見込みについて伺いたい。
- (3) 浄水施設の耐震化率が低い理由について伺いたい。
- (4) 浄水施設の今後の耐震化計画について伺いたい。
- (5) 浄水場・配水ポンプ場における停電対策について伺いたい。
- (6) 非常用自家発電設備と二回線受電の整備状況と今後の整備計画について伺いたい。

(要望) 地震発災時にも断水することなく水道の供給を継続するために、水道施設の耐震化は非常に重要ですので、早期に耐震化を進めることを要望します。

4 地域とのコミュニケーションについて

(1) これまで水道局が取り組んできたPRについて伺いたい。

(2) 地域において取り組んでいるPRについて伺いたい。

(3) 水道局が考えるPRの内容について伺いたい。

(4) 水道局が27年度に取り組むPRについて伺いたい。

(要望) 将来に向けたビジョンを明確に発信して、着実に事業を推進していくことを切に要望します。

5 串 田 久 子 委 員 (結 ぶ 会)

- 1 中期経営計画における資産活用、水源エコプロジェクトの取組について
 - (1) 中期経営計画における資産有効活用の26年度進捗状況及び達成見込みについて伺いたい。
 - (2) 水源エコプロジェクト(ウィコップ)のこれまでの実績について伺いたい。
 - (3) ウィコップの27年度及び中期経営計画以降の取組について伺いたい。

- 2 広域水質管理センターの設置について
 - (1) 広域水質管理センターの概要について伺いたい。
 - (2) 広域水質管理センター設置のメリットについて伺いたい。
 - (3) 広域水質管理センター設置に係る費用等の負担について伺いたい。
 - (4) 広域水質管理センター管理対象を水源に限定した理由について伺いたい。

- 3 西谷浄水場再整備事業について
 - (1) 西谷浄水場再整備における浄水処理方法の検討内容について伺いたい。
 - (2) 浄水処理方法の評価の視点について伺いたい。
 - (3) 浄水処理方法の検討におけるコスト評価結果について伺いたい。
 - (4) 粒状活性炭を導入することによる効果について伺いたい。

6 荒 木 由美子 委員（共産党）

1 水道局発注の工事と人材育成について

- (1) ここ3年間の水道局発注工事件数について伺いたい。
- (2) 不調となった件数、割合及び原因について伺いたい。
- (3) 労務単価の引き上げや資材単価の上昇に伴う対応について伺いたい。
- (4) 契約後に工期延長や請負代金額の増額が生じた場合の対応について伺いたい。
- (5) 水道管布設替工事等の監督及び検査の職員体制について伺いたい。
- (6) 団塊世代の大量退職後、工事監督等に従事する土木職員の人材育成の工夫について伺いたい。
- (7) 道志水源林間伐材製のME認定証を受けることで、職員のモチベーションも上がると考えるがどうか。
- (8) 工事の監督等に従事する土木職員のスキル向上に向けた局内研修の取組状況について伺いたい。
- (9) 水道工事事業者における技術者等の人材不足の状況について伺いたい。
- (10) 漏水破裂事故等の緊急時における水道局と水道工事事業者の対応について伺いたい。
- (11) 水道局は、安全な水の供給という観点からも、工事事業者の事故防止や若手技術者の育成に協力していく必要があると考えるがどうか。
- (12) 工事事業者に対して、様々なパターンの感謝状を作成し差し上げるということとは、お金をかけずにできることだと思えるがどうか。

7 平野和之委員（みんな）

1 備蓄飲料水「横浜水缶」について

- (1) 「横浜水缶」の1本あたりの販売単価、26年度の販売本数及び販売金額について伺いたい。
- (2) 製造委託契約の内容について伺いたい。
- (3) 製造委託業者は缶詰製造事業者なのか伺いたい。
- (4) 契約の相手方の履行能力について確認をしているのか伺いたい。
- (5) 「横浜水缶」の販売価格と粗利率、その中に、販売経費をどのくらい計上しているのか伺いたい。
- (6) 箱単位で1300円で仕入れて1800円で販売するという体質をどう認識するか。
- (7) 入札参加事業者が増えれば、製造単価が落ちるのではないかと考えるがどうか。
- (8) 備蓄飲料水は、民間企業が製造・販売すれば、水道局が製造・販売する必要はないと考えるがどうか。

2 水道事業の民営化について

- (1) 広島県と民間企業が設立した会社「水みらい広島」の概要について伺いたい。
- (2) 「水みらい広島」と横浜ウォーター株式会社の事業モデルは似ていると感じるがどうか。
- (3) 事業モデルはほぼイコールということでよいか。
- (4) 横浜ウォーター株式会社に民間出資を入れるべきと考えるがどうか。
- (5) 海外水ビジネス協議会を組合にして出資をしてもらったらどうか。
- (6) 現状の海外の民営化論や民間に委託をした際のトラブルについて、どのような解釈をしているのか伺いたい。
- (7) 水道施設の証券化をすべきと考えるがどうか。